

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：土地水政策課
担当名：水計画調整・水源地域対策担当
内線：2191 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P25	水循環推進費				一般会計	総務費	企画費	企画調整費	水資源確保対策費	
事業期間	昭和60年度～	根拠法令	水循環基本法、雨水の利用の推進に関する法律				針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	6
							分野施策	0205 安全な水の安定供給と健全な水循環の推進	SDGsターゲット	6-1, 6-4
1 事業概要			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 水循環推進費 308千円 (ア) 「水の日」 (8/1) ・ 「水の週間」 (8/1～7) 関係行事を実施 (イ) 水循環に係る啓発資料の作成 イ 水資源対策協議会の運営 0円 ウ 水源地域との交流事業 (上下流交流事業) 1,686千円 (ア) 水のふるさと応援団事業 (イ) 水源わくわくセミナー (ウ) さいたまの水と森ふれあい事業 (2) 事業計画 ア 全日本中学生水の作文コンクール埼玉県表彰及び埼玉県水資源功績者表彰を実施するとともに、水循環に係る啓発資料の作成・更新を実施し、節水意識に係る普及啓発を行う。 イウ 本県における重要な水源であるダムおよび水源地域の保全に寄与するとともに、水源地を訪れ、水源地域の実情を学び、理解浸透を図る。 (3) 事業効果 水の貴重さ及び水資源開発の重要性について関心を高めるとともに理解を深める。 【活動指標 (アウトプット)】 水の作文コンクール応募数100作品、水循環啓発資料作成及びHP公開 【成果指標 (アウトカム)】 節水を意識している県民の割合84.6% 							

事業内訳書

事業名	水循環推進費		
単位事業名	水資源対策協議会の運営	予算額	△ 330千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 水源地域対策基金繰入金	△330	—	
合計	△330	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	△330	—	バス賃借料の減
合計	△330	—	

単位事業名	水のふるさと応援団事業	予算額	△ 167千円
-------	-------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 水源地域対策基金繰入金	△109	—	
一般財源	△58	—	

単位事業名	水のふるさと応援団事業	予算額	△ 167千円
-------	-------------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△167	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△2	—	執行節減による消耗品費の減
役務費	△15	—	通信費、傷害保険料の減
使用料及び賃借料	△150	—	バス賃借料の減
合計	△167	—	

単位事業名	水源わくわくセミナー	予算額	△ 714千円
-------	------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 水源地域対策基金繰入金	△153	—	

単位事業名	水源わくわくセミナー	予算額	△ 714千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 雑入	△475	—	水源わくわくセミナー参加者負担金 水源わくわくセミナー企業局負担金
一般財源	△86	—	
合計	△714	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△1	—	執行節減による減
需用費	△197	—	執行節減による消耗品費の減
役務費	△240	—	通信費、傷害保険料の減
使用料及び賃借料	△276	—	バス賃借料の減
合計	△714	—	

単位事業名	さいたまの水と森ふれあい事業	予算額	△ 154千円
-------	----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 水源地域対策基金繰入金	△100	—	
一般財源	△54	—	
合計	△154	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	1	—	消耗品費の増
役務費	△15	—	通信費、傷害保険料の減
使用料及び賃借料	△140	—	バス賃借料の減
合計	△154	—	